

□令和7年度スローガン

笑顔あふれる

「み」みつけよう夢を

「た」高めよう志へ/助け合おう友と

「ち」知恵と

「や」やる気と

「ま」真心で

【ひとり言】

飼育委員会が中心となり
学校で飼育していた人気者、
ウサギの「ボンズ」が
亡くなりました。
5月17日(土)のことでした。

見つけてくれたのは、
本校の卒業生で、
休みの日にはいつも
エサやりや
飼育小屋の掃除を
してくれていた
岩崎葉奈さん実由さんの
高校生姉妹でした。

月曜日、
子どもたちが登校すると
周囲は綺麗に整えてあり、
花が飾られていました。
2人のお陰で、
子どもたちのショックは
随分軽減されましたが、
子どもたちにとっては
辛い別れとなりました。

安樂副校長や
川勝事務主査のお世話で、
火葬から納骨までを
無料でしてくれる業者に
依頼しました。

ボンズの遺骨は現在
職員室前の廊下に飾っていますが、
飼育委員会の皆さんが作成した
「ボンズありがとうボード」をはじめ
子どもたちからの花やメッセージ、
折り紙などが
次々に手向けられています。

悲しい出来事ではありましたが、
子どもたちは命の大切さを
改めて実感する出来事でした。



学びをつなげる～運動会からプールへ～

6月9日(月)のプール開き以降、登校してきた子どもたちの口からは、
毎日のように「今日はプール入れますか?」の質問が飛び出してきました。
子どもたちにとっては、それほど楽しみな学習なのでしょう。

さて今日は、プール開きに向けて、6年生が取り組んでくれた **プール掃除** について、
体育主任(6年担任)の野上教諭が伝えてくれましたので紹介します。

学びをつなげる～運動会からプールへ～

先月末、6月9日から始まる水泳学習に向けて、6年生が「プール清掃」に取り組んでくれました。新年度が始まって二ヶ月。これまで6年生は、入学式準備、1年生のお世話、運動会など、最高学年として全校のために「何ができるか?」「どう動くか?」を考えて取り組んできました。このプール清掃では、細かな分担は決めず子どもたち自身に任せましたが、一人一人が自分のできることを考え、行動に移したことで、あっという間にプールがピカピカになりました。

これは、6年4組太田健晴さんが書いた「プール清掃に振り返り」の記述です。

ぼくは、人のためにたくさん良い行動をしたいという気持ちで臨みました。理由は、これまでも人のために動ける時があったのに、動かなかったことがあったからです。

運動会前の昼休み、予行練習で使ったテントの幕を、雨のため一度片付ける作業がありました。先生が「手伝ってくれる人は来てください。」と言いました。それなのに、ぼくは、教室でタブレットをしていました。ぼくは、外で作業を頑張っていた人のことを考え、反省し、次に生かそうとしました。

運動会が終わり。次に学校に行った日の朝、椅子の片付けがまだ終わっていませんでした。先生から「片付けに行ってくれる人?」と聞かれ、ぼくはチャンスだと思い手を挙げました。周りを見るとクラス全員が手を挙げていました。そして、全員で片付けに行くと、すぐに終わりました。

今日のプール清掃でも、どう動けば人のためになれるかを考えて行動しました。プール掃除をやってみて、「人のために動くということは、こんなにもやりがいがあるんだ」と感じました。これから人のために動くことがあれば、進んでやっていきたいです。

6年4組 太田 健晴

運動会での学びを、その後の生活に生かしている点が大変素晴らしいです。学校だより第5号でもお伝えしていた、3本柱の2つめ「学びをつなげる」が、教室(学習)けでなく、生活の中にも表れていることをとても嬉しく思いました。



写真は、6年生教室から見た
プールです。輝いています!
活動後の振り返りでは、
「1年生にとって初めての水泳学習なので、綺麗なプールで学習してほしい」と書いている児童が
とても多かったです。